

つぎはぼん



蔵書点検のおしらせ

以下の日程で蔵書点検を行います。

**本館・北部分館は閉館して行いますので
お気を付けください。**

(東部分館は開館したまま行います)

東部：2月12日(水) 北部：2月14日(金)

本館：2月18日(火)～2月21日(金)

蔵書点検とは？

図書館に所蔵している資料を1点ずつ読み込みながら
点検していく作業のことです。
正しい場所に配列されているか、汚損や破損はないか、
データに誤りが無いかなどを確認していきます。
年に1度行う、本の棚卸しのことです。

10月11月12月のYA向け新刊案内

- 『AIにはない「思考力」の身につけ方 ことばの学びはなぜ大切なのか?』 今井 むつみ/著 筑摩書房 (141.5)
- 『世界に挑む!デフアスリート 聴覚障害とスポーツ』 森埜 こみち/著 ペリかん社 (780)
- 『10代からの文章レッスン みんなどうやって書いてるの?』 小沼 理/編著 安達 茉莉子ほか/著 河出書房新社 (816)
- 『嘘泣き女王のクランクアップ』 神戸 遙真/著 萩森 じあ/絵 Gakken (913.6)
- 『Vチューバー探偵団 目指せ!登録者100万人』 木滝 りま/著 舟崎 泉美/著 榎 のと/絵 朝日新聞出版 (913.6)
- 『プラテロとぼく』 フアン・ラモン・ヒメネス/作 宇野 和美/訳 早川 世詩男/絵 小学館 (961)

1月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

2月	日	月	火	水	木	金	土
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	

3月	日	月	火	水	木	金	土
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

開館時間

火～金・日：10時～18時

土：9時～19時

開館日が
変更になる場合が
ございます。
ご了承ください。

開館カレンダー
一月・二月・三月

お題を決めて

第19回のお題「言葉」

この1冊

『のび太くん、もう少しだけがんばって ドラえもん名言集』
藤子・F・不二雄／著 幅 允考／選 小学館 (726.1)

みなさん、『ドラえもん』の原作漫画を読んだことがありますか？

土曜日の夕方にテレビでアニメを観ていた人はたくさんいるでしょう。春ごろに毎年公開される映画を観たことがある人もたくさんいるはず。では、原作漫画は？ちゃんと読んだことがある人って、意外と少ないのではないのでしょうか？

この本は、漫画『ドラえもん』全45巻から選んだ、心に響く名言を55個掲載しています。今回はその中から1つをピックアップし、紹介します。

「人間のねうち、テストの点数だけで済ませるものじゃないのよ」

こちらは、本書56ページ・『ドラえもん』25巻71ページの、しずかちゃんのセリフです。のび太はいつもテストで0点ばかり。ぐうたらで、何かあればすぐにドラえもんに泣きつきます。でも、彼が持つ優しさや行動力の素晴らしさは、アニメや映画で「ドラえもん」を観てきたみなさんならご存知のはず。それこそ、テストでは点数がつけられない、のび太の「ねうち」となる部分です。

みなさんにも、そういうキラリと光る部分があります。『ドラえもん』の深く優しい言葉に触れ、改めて自分を見つめ直してみませんか？



流行りを学ぶに

中高生の間や世間で流行していることをちょこっと掘り下げ、明日友達に自慢できる……かもしれない「知識」を紹介します。第19回はNHK大河ドラマ『べらぼう〜篤重栄華乃夢斬〜』より、**篤屋重三郎**についてちょこっと掘り下げ！結局この人どうして有名なの？（昨年観たミュージカル『刀剣乱舞』で、篤重さんの話が出てきたばかりだったので、大河ドラマの主演と聞いてすごく驚きました。歴史の勉強になるので、よければミュージカル『刀剣乱舞』も観てみてくださいね〜!）

江戸文化を牛耳る名プロデューサー

篤屋重三郎は20代半ばで江戸に版元「耕書堂」を開き、喜多川歌麿や東洲斎写楽といった浮世絵師や、曲亭馬琴や十返舎一九といった戯作者を世に送り出しました。

売れる作家を次々と見つけ、タッグを組んでヒット作をたくさん生み出したので「江戸のメディア王」と呼ばれています。

Q.「版元」とは？

A. 本の出版社、発行元のこと。

江戸時代の版元は本の制作、流通、販売まで行っており、江戸文化に非常に大きな影響を与えたといわれています。

“篤重”と江戸をより深く知るための本

『篤屋重三郎とその時代。1冊でまるわかり！江戸の出版王の数奇な生涯』
ベン編集部／編集 CCCメディアハウス (289.1)

『いろは判絵 江戸のエスプリ・なぜなぜ絵解き』 岩崎 均史／著
青幻舎 (721.8)

『出てこい、写楽！ 篤重編集日記』 楠木 誠一郎／作
平沢 下戸／絵 静山社 (913.6)

喜多川歌麿作「ポッピンを吹く女」



東洲斎写楽
さんだいの
「三代目」
おたにおに
大谷鬼次の
かっこえい
奴 江戸兵衛



大手ビデオレンタルショップ「TSUTAYA」と篤屋重三郎、実はちよつと関係があります。TSUTAYAの創業者は増田宗昭さん。彼の祖父が営んでいた置屋※の屋号が「篤屋」だったことから「TSUTAYA」と名付けました。元になった祖父の屋号「篤屋」は篤屋重三郎にあやかっつけられたものなんだそうです。

※置屋…芸者や遊女を抱え、必要に応じて後送する家

参考：篤屋重三郎 日本史辞典／ホームメイ

<https://www.touken-world.jp/history/history-important-word/tsutaya-juzaburo/>

江戸のメディア王・篤屋重三郎（版元）／ホームメイ

<https://www.meihaku.jp/ukiyo-e-basic/tsutaya-juzaburo/>

おたより募集中!

「お題を決めてこの一冊」や「流行りを学ぶに」で取り上げてほしいテーマがあれば教えてください!

時津図書館HP
お問合せフォーム

